

コブシ（辛夷）の実

2023/9/13 老いた散歩人

コブシ（辛夷）と言えば、千昌夫が「♪こぶし咲くあの丘、北国の あゝ北国の春♪」と歌う「北国の春」が浮かびます。春の訪れの告げるこの花を、未だ残暑が残るこの9月に話題にして申し訳ない。

6月半ばに公園での散歩中に、ふと見上げた木の葉の間に見慣れない形の実（図1（a）参照）があることに気付きました。緑色でゴツゴツとした武骨な形をしていました。この形は虫にでも噛まれたからかなと…。別の実を探して目をやれば、形こそ違えやはりゴツゴツ。何の木だろう？



(a) 初夏は緑色の実



(b) 夏になり少し熟して赤みがかった実

図1 シデコブシ（四手辛夷）の実

家に帰って調べたところ、コブシの実らしい。思い出しました、あの場所のあの木。シデコブシ（四手辛夷）に違いありません。ある春先に訪れた時、その木は他の木々に先駆けて、コブシに似た白い花をたくさん咲かせていました。落葉樹のためか葉は1枚もついておらず、しかも新葉の展開前に咲いたもので目立っていました。ただ、花びらはコブシに比べて細く、たくさんの枚数がありました（図2）。気品の高さには少し負けていましたが、楚々とした美しさはありました。帰宅して、花木名を調べたところ、接頭語に“シデ（四手）”が付いた“コブシ（辛夷）”でした（下記の参考1参照）。コブシと共に、モクレン科モクレン属に分類されています。

参考1：コブシの花が6枚の白い花びらからできているのに対し、シデコブシの花びらは9～30枚とたくさんあり細くなっています（図2参照）。神社の注連縄（しめなわ）や玉串（たまぐし）、お祓いをするときに神主さんが振る棒の祓串（はらえぐし）、大麻（おおぬさ）に付いているヒラヒ

うとした紙のことを「しで（垂・四手）」と呼びます。細くて多数ある白い花びらが四手を連想させるので「四手辛夷（シデコブシ）」と名付けられました。



(a) コブシ；花びら6枚

(b) シデコブシ（出典：Pixabay）：花びら 9～30 枚

図2 コブシ（辛夷）とシデコブシ（四手辛夷）

楚々として美しかった花があのごツゴツとした武骨な形の実になるとは、なんと落差のあることでしょう。逆に、ゴツゴツとした武骨な形の実が、あの楚々として美しい花を生むのだと解釈すれば、大いに自賛に値する親かとも捉えられます。



図3 コブシの花：雌しべと雄しべ
（図2 (a)の部分拡大）

なぜ、ゴツゴツとした形の実になるのでしょうか？ 調べてみました。図3はコブシの花の雌しべと雄しべです。モクレン科特有の豪華さがあります。中心の緑色の棒状のものが、雌しべの集まり。その周りをらせん状に囲んでいるのが、多数の雄しべ。雄しべと言っても葯（やく：花粉を入れている器官）しか見えていません。

雌性先熟（自家受粉を避ける方法の一つ）の両性花で、先に雌しべが柱頭を突き出します。その後、雌しべの柱頭は中心にへばりつくようになり、へら型の雄しべが突き出して縦に割れて両側の隙間から花粉を出すそうです。（Ref.1）

花には芳香がありますが蜜を出しません。また、開花直後の雌性期（つまり、受粉可能期）に花粉は未だありません。（花粉は雄性期に移行してからです。）植物の進化につれて効率的に他家受粉できるハナバチを訪花昆虫（ポリネーター）に選ぶ植物が増えていくのですが、コブシはハナバチ出現以前のポリネーターである甲虫やアブ（双翅目[そうしもく]：2枚の翅[はね]をもつ昆虫のグループ）を利用しています。雌性期では餌となる花粉が無いのでポリネーターに人気がありません。コブシは、花粉を目当てに來た虫が誤って雌しべに留まるのをあてにしているのです。モクレン科は原始的な植物と言われています。（Ref.2）

コブシの実、いくつかの種子が集まった集合果です。受粉した雌しべの所だけ種子ができ、受粉できなかった所は子房が膨らんでこないので。それ故、このように形がいびつになるのです。花の雌性期に花粉は無く、また蜜はもともと無いため訪れる昆虫が少なく、一部の雌しべしか受粉できないのです。図2のゴツゴツとした実は、図3の緑色の棒状（雌しべの集合体）が発育した姿でした。

このように集合果がいびつになるのは、コブシと同属のモクレン（木蓮、木蘭）（図4参照）にもみられるそうです。10月に入ると実は赤く熟します。赤は鳥に対してアピールする色であり、袋果の割れ目から赤い種子を覗かせて鳥についばまれるのを待っているそうです。

コブシやモクレンなど、とても身近な花木であるにも関わらず、その花の美しさばかりに関心を寄せ、その発育後の実の姿まで見ていませんでした。どうも、物事に対する関心の寄せ具合が、初恋時代から進化していないようです。あるいは若年時からの老化が進み、感受性がより狭くなってきたのかも…。

無知をさらけ出した拙文になりました。お付き合い、有難うございました。



図4 モクレン（木蓮、木蘭）

参考文献

Ref.1 コブシ・2（雄蕊・雌蕊）(<http://blog.livedoor.jp/muku765/archives/1799776.html>)

Ref.2 コブシ（モクレン科モクレン属）雌性先熟

(http://www2.plala.or.jp/aki_ogawa/episode/kobusi.html)